

Maebashi Institute of Technology

前橋工科大学

2024年度

学生募集要項

【特別選抜】

帰国生徒

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試係

TEL 027-265-0111 (代表)

027-265-7361 (学務課入試係)

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

目次

前橋工科大学工学部の教育ポリシー	1
前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー	2
I 募集人員	4
II 出願	4
II-1. 出願資格	
II-2. 出願期間	
II-3. 出願方法	
II-4. 出願先	
II-5. 出願書類	
II-6. 入学検定料	
III 選抜方法及び試験日程等	6
III-1. 選抜方法	
III-2. 試験会場及び試験日時	
III-3. 受験上の注意事項	
IV 合格発表	8
IV-1. 発表日	
IV-2. 発表方法	
V 入学手続	8
V-1. 入学手続期間	
V-2. 入学手続方法	
V-3. 入学手続き場所及び送付先	
V-4. 入学手続に必要なもの	
V-5. 入学手続上の注意事項	
VI 入学に係る経費	9
VII 障がい等へ配慮を必要とする入学志願者との事前相談	9
VII-1. 相談期間	
VII-2. 相談の方法	
VII-3. 連絡先及び提出先	
VIII その他	10
VIII-1. 個人情報の取扱い	
VIII-2. ノート型パソコンの必携化について	

天候等の理由で試験の実施に変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

前橋工科大学工学部の教育ポリシー

○ 前橋工科大学の三つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本学は、建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群の2学群から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3ポリシーを定めている。多様な特色をもつ2学群では、それにしたがって、学群の理念を実現するため、さらに学群ごとに三つのポリシーが定められている。

● 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前橋工科大学の理念、教育の目標を理解し、以下の能力、意欲を持つ人の入学を希望します。

- ・教育課程編成・実施の方針をもとに学び、成長するために必要な、高校課程の基礎的な学力を備えている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育き、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力をみがくため、持続力をもって学ぼうとする人
- ・対話によって気づきを共有することが、学びを深めるために大切だと認識する人

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、教養基礎科目、専門教育科目を学修する
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得し、その結果を論理的に発表する力を身に付ける
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養する

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- ・自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- ・他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている

前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー

【建築・都市・環境工学群】

「入学者受入方針」（アドミッション・ポリシー）

・求める学生像

身のまわりのアイテム、建築物、橋のような公共構造物と、それらとふれあう場としての生活空間・情報空間について、工学的にデザインする技術者の育成を目指します。日ごろ目にするものやその環境が学びの対象です。持続的社会的構築を目指してどのように‘もの’や‘空間’と向き合い、環境を整えるべきか、工学を手掛かりに考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野と洞察力、独創的な発想力と問題解決能力、コミュニケーション力などの基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、国語及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目の履修をとおして学群の関係する広範な学術分野を横断的に理解できる能力を開発するとともに、それぞれの教育プログラムの基礎的な科目を学び、学生ひとりひとりが基礎知識と自己表現力・提案力を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

【情報・生命工学群】

「入学者受入方針」 (アドミッション・ポリシー)

・求める学生像

情報科学・生命科学・ロボット技術と、微生物から人間まで様々な生きもののもつ優れた機能の利用によって、よりよい社会をつくる技術者の育成を目指します。データサイエンス及びライフサイエンスがおもな学びの対象です。最先端の技術を持続的社会的形成に役立て、人々の暮らしを豊かにする方法を考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野を持って、自然科学・工学の知識を収集・理解し、問題を発見、分析、解決するための基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (あるいは同等の科目)、理科では物理 (物理基礎を含む)・化学 (化学基礎を含む)、生物 (生物基礎を含む) (あるいは同等の科目)、国語及び英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」 (カリキュラム・ポリシー)

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目 (工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目) に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目及びそれぞれの教育プログラムの基礎的な科目を履修し、学生ひとりひとりが技術者としての基本的な素養とともに情報工学及び生命工学に関する基礎知識を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」 (ディプロマ・ポリシー)

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士 (工学) の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

I 募集人員

学部	学群※	募集人員
工学部	建築・都市・環境工学群	若干名
	情報・生命工学群	若干名

※学群とは、学科に相当します（以下同じ。）。

II 出願・手順

II-1. 出願資格

次の全ての項に該当する者

- (1) 日本国籍を有し、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により、外国に在住し、外国の学校教育を受けた者で次のいずれかに該当する者
 - ①外国において、外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年に相当する課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を2022年4月1日から2024年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者
 - ②外国の教育制度に基づく教育機関において、外国において2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年もしくは中等教育学校の第6学年に編入学を認められた者で、2024年3月卒業見込みの者
 - ③外国において、外国の大学入学資格（国際バカロレア資格、アビトゥア資格、フランス共和国のバカロレア資格、GCE Aレベル資格取得者はAレベル3科目以上又はAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目）を有する者で、2021年4月1日以降に授与された者
- ※①及び②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けた者とはみなされない。
- (2) TOEFL iBT®、TOEIC® L&R の公開テストのうちいずれか1つを2022年4月以降に受験している者

※出願資格に疑問がある場合は、事前に学務課入試係に問い合わせてください。

II-2. 出願期間

2024年1月22日（月）～ 1月26日（金）

II-3. 出願方法

出願書類を前橋工科大学ホームページ（トップページ ≫ 入試情報 ≫ 大学入試要項 ≫ 帰国生徒）
[<https://www.maebashi-it.ac.jp/exam/kikoku.html>]よりダウンロード・印刷し、必要事項を記入等のうえ、出願書類を出願書類提出用封筒に入れ、下記出願先に簡易書留の速達扱いで郵送してください。出願受付は、出願期間内必着ですので、郵送期間を十分考慮のうえ発送してください。

II-4. 出願先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1
前橋工科大学 学務課入試係
TEL 027-265-7361 (学務課入試係)

II-5. 出願書類

出願に必要な書類	作成方法等
入学願書	黒色のボールペンで記入し、又はパソコン等で作成してください。
志願者調書	黒色のボールペンで記入し、又はパソコン等で作成してください。学校教育歴は初等教育から全てを記入してください。職歴は、ある人のみ記入してください。
受験票・写真票	必要事項を記入し、縦4cm×横3cmの写真(正面上半身脱帽背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの)の裏に氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。カラー・白黒は、問いません。
大学入学希望理由書・活動報告書	本学ホームページにある書式を使用し、志願者本人が記入してください。 ※様式は、本学ホームページ→入試情報→大学入試要項のページ (https://www.maebashi-it.ac.jp/exam/university.html) からダウンロードしてください。
入学検定料振込依頼書及び入学検定料納付証明書	入学検定料は、『振込依頼書』を使用し、金融機関(ゆうちょ銀行は除く)の窓口にて納入してください。ATMやインターネットバンキングでの納入はしないでください。入学検定料納入後、『入学検定料納付証明書』を貼付欄に貼付してください。受領印のないものは受け付けできません。
最終出身学校の卒業(見込)・修了(見込)証明書	出身学校所定の原本を提出してください。
成績証明書(※調査書)	出身学校所定の用紙で作成された原本を提出してください。 国家試験等の統一試験(アメリカ合衆国のSAT等)を受験している者は、その成績評価証明書等を提出してください。 ※日本の高等学校に在学したことのある者は提出してください。
国際バカロレア資格証書の写し	該当者のみ提出してください。 ※入学手続きの際に原本を郵送又は持参してもらいます。郵送又は持参された原本は返却いたします。
アビトゥア資格証明書(成績記載のもの)の写し	
フランス共和国のバカロレア資格証書の写し	
GCEの成績評価証明書の写し	
TOEIC® L&R 公式認定証又は TOEFL®スコア認定証	2022年4月以降に受験したTOEIC® L&R 公式認定証又はTOEFL®公式スコア票を提出してください。(確認後コピーし返却しますが、返却の際に生じた郵便事故に関しては、本学は一切責任を負いません。)
前橋市の住民票の写し	前橋市内居住者(「VI 入学に係る経費」(9ページ))に該当する場合は、入学金減免の対象となるので提出してください。なお、配偶者又は1親等の親族が前橋市内居住者の場合は、本人との関係性が分かる書類を併せて提出してください。

受験票返信用封筒	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、定形郵便物(25gまで)+速達分の切手を貼ったもの。返信用切手が貼付されていない場合、受験票を返信いたしません。
出願書類提出用封筒	提出書類送付用ラベルに、志望学群、差出人等の必要事項を記入し、角型2号の封筒にはがれないように糊付してください。

- ※ 出願書類は原本を提出してください(提出した出願書類は返却できません。)
- ※ 原本が日本語又は英語以外で作成されている場合は、「原本」、「日本語又は英語で作成された訳文」、「その訳文を翻訳・作成した機関又は翻訳会社(翻訳者)の住所・名称(氏名)・連絡先等が記載され、押印(サイン)のある証明書」の書類(コピー不可)をそれぞれ提出してください。
- ※ 証明書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

II-6. 入学検定料

入学検定料 17,000円

一度納付された入学検定料は、次の①～④のいずれかに該当する場合を除き、どのような理由があっても返還しません。

- ① 二重に納入した場合
- ② 入学検定料の納入後、出願手続をしなかった場合
- ③ 出願無資格者であることが判明した場合
- ④ 出願期間後に出願書類の提出があった場合

※上記①～④の場合は、検定料から手数料を差し引いた金額を返還します。納入した検定料の対象となる試験の実施日までに、本学学務課入試係(027-265-7361)にお問い合わせください。

III 選抜方法及び試験日程等

III-1. 選抜方法

次の(1)～(3)により、総合的に判断します(両学群共通)。

- (1) 書類審査
- (2) 個別学力検査(一般選抜【前期日程】と同一問題)(両学群共通)
数学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B)
- (3) 面接

III-2. 試験会場及び試験日時

- (1) 試験会場: 前橋工科大学(試験室等は、当日に受付(1号館)でお知らせします。)
- (2) 試験日時: 2024年2月25日(日)10時00分から
- (3) 試験実施時間

時間		10:00～12:00		13:00～
科目	諸注意	個別学力検査	休憩	面接

- ※ 試験開始の1時間前から試験室に入室開始となります。
- ※ 受験生は、9時～9時30分までに指定された試験室等に入室し、着席してください。

Ⅲ-3. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- (2) 試験当日に受験票を忘れた者は、速やかに1号館1階にある大学事務局で受験票の再発行手続きをしてください。また、受験票は、入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (3) 試験室等は、当日に受付（1号館）に掲示します。
- (4) 受験生は、試験開始の30分前までに指定された試験室等に入室し、着席してください。
- (5) 試験開始後、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は、行いません。
- (6) 面接では、試験開始時に不在であった場合は、欠席したものとして取扱います。
- (7) 該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- (8) 受験票は、試験監督者に明示できるよう机の上に置いてください。
- (9) 試験時間中に使用を認めるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチなどのウェアラブル端末は、アラーム機能を止め、本体の電源を切って、かばんに入れ、身に付けないでください。
- (10) 試験室での受験生間の物品の貸借は、一切認めません。
- (11) 昼食の販売は行いませんので、必要な場合は、各自で用意してください。
- (12) 上履きは、不要です。
- (13) 駐車場は、数が限られておりますので、できるだけ公共交通機関を利用してください。
- (14) 本学では宿泊施設の斡旋は、しておりません。必要な場合は、各自で手配してください。
- (15) 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受け付けを行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じてても責任を負えませんので注意してください。
- (16) 試験日前日の午前までに限り試験会場の下見は可能ですが、建物内（試験室等）への立ち入りはできません。
- (17) 受験者数により面接試験の待機時間が長くなる場合がありますので、ご承知おきください。特に、公共交通をご利用の方は、帰りの運行時間等にご注意ください。
- (18) 面接会場には、凶面や作品等の持ち込みを禁止します。
- (19) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められているインフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症になり治癒していない者は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、これにより受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については、十分に注意してください。
- (20) 不測の事態等が生じ、試験実施が困難であると判断した場合は、試験を中止し、又は試験形態を変更する事があります。ただし、このことに伴う受験生の個人的な損害については、本学は、責任を負いません。
- (21) 試験の実施に関して変更等がある場合は、大学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。

IV 合格発表

IV-1. 発表日

2024年3月5日（火）

IV-2. 発表方法

合格者には「合格通知書」および「入学関係書類」等を速達で郵送します。また、合格者の受験番号は本学ホームページ (<https://www.maebashi-it.ac.jp/>) で、合格発表日の13時以降に掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。なお、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

V 入学手続

V-1. 入学手続期間

2024年3月6日（水）～ 3月13日（水）

V-2. 入学手続方法

入学手続書類の提出は、郵送又は持参により行ってください。

郵送：簡易書留の速達で郵送してください。

持参：受付時間は、土日祝日を除く9時00分～12時30分及び13時30分～17時00分

V-3. 入学手続き場所及び送付先

「II-4. 出願先」（5ページ）と同じ。

V-4. 入学手続に必要なもの

①振込金受領書〔入学料〕【原本】：書類提出前に金融機関で納入してください。

②本学の受験票（又は合格通知書）

③入学手続案内で指示するもの

a) 誓約書（本学所定の用紙）

b) 学生調査票（上記aの裏面）

c) カラー写真 2枚（縦4cm×横3cm。1枚は学生調査票に貼付。）

※①、②は手続き完了後返却します。

※入学許可書の発行をもって、入学資格が発生します。

V-5. 入学手続上の注意事項

①期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

②必要な書類がすべてそろっていない場合は受け付けませんので、書類提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。

③入学料を納入した場合でも入学手続に必要な書類は、所定の期日までに必着していなければなりません。

④卒業(修了)見込み又は学位授与見込みで出願・合格し、入学手続きを完了した場合でも、2024年3月31日までに卒業(修了)又は学位授与されないことが判明した場合には、入学資格を失います。

⑤入学手続完了後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、直ちに本学に連絡し、2024年3月31日【必着】までに所定の入学辞退届を提出してください。

⑥一度受付をした入学手続書類及び納入された入学料は、どのような理由があっても、返還しません。ただし、次のア又はイのいずれかに該当する場合は、入学料を返還しますので、入学手続期

間の最終日まで、学務課入試係に問い合わせてください(振込手数料は、本人負担となります。)

ア 二重に納入した場合

イ 入学料の納入後、入学手続をしなかった場合

入学手続書類を受理しなかった場合は、本学から入学料の返還手続の案内を行います。

VI 入学に係る経費

		金額	納入時期
入学料		282,000円	入学手続時
		141,000円 [前橋市内居住者] (注1)	
諸経費	後援会費	50,000円	入学前
	同窓会費	20,000円	
	災害傷害保険料 (注2)	4,660円	
	TOEIC受験料 (注3)	3,130円 [1年次に受験]	
	学生自治会費	21,000円	入学時
授業料 (注4)		535,800円 [年額]	4月 及び 10月

※ 上記の額は、2023年4月1日現在のものです。改定した場合は、改定後の額が適用されません。

(注1) 「前橋市内居住者」とは、入学する者または配偶者もしくは1親等の親族が2024年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者(2023年4月1日~2024年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者)とします。「前橋市内居住者」として入学料を納入し、入学した者は、2024年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し(2024年4月1日以降に転出した者は住民票の除票)を提出していただきます。なお、前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入していただくことになりますので、ご注意ください。

(注2) 災害傷害保険料は、学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料(正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。)で、指定された期日までに払い込んでください。

(注3) 後援会加入の場合は、2,000円の助成が受けられます。

(注4) 授業料の納入については、前期及び後期の2期に分割し、前期分については4月末日までに、後期分については10月末日までに、それぞれ年額の2分の1に相当する額を納入することになります。また、教科書購入等のために別途費用が必要となります。

VII 障がい等へ配慮を必要とする入学志願者との事前相談

障がい等のある方が本学への入学を志願する場合で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるときは、次のとおり、出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がいを負うこととなった場合も、速やかに相談してください。

VII-1. 相談期間

2023年11月27日（月）～ 12月1日（金）

VII-2. 相談の方法

事前に学務課入試係（027-265-7361）まで電話連絡し、本学で定める相談申請書（住所・氏名・性別・連絡先・志望学群・障がいの状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください）及び診断書等の必要書類を提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。

VII-3. 連絡先及び提出先

「II-4. 出願先」（5ページ）と同じ。

VIII その他

VIII-1. 個人情報の取扱い

前橋工科大学では、提出された書類及び入学試験の実施によって取得した志願者の個人情報は、関係法令を順守し、次の目的以外には利用しませんので、予めご了承ください。

- (1) 入学者の選抜、合格者発表及び入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収業務関係の業務を行うために利用します。また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。なお、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は教務関係及び学生支援関係の業務、並びに今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために学内でのみ利用します。

VIII-2. ノート型パソコンの必携化について

本学では、高度情報化社会における情報通信技術等の修得や、ICTを活用したアクティブラーニングの推進、学修環境の充実化を目的として、2021年度からノート型パソコン必携化制度を実施しています。したがって、本学へ入学される方は、入学までに各自でノート型パソコンを準備していただくことになります。なお、準備していただくノート型パソコンの推奨仕様は、後日、大学ホームページでお知らせします。

